



うらしまだより

浦島保育園

= 令和元年 5月号 =

新しい時代『令和』の幕開けです。

この『令和』には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められており、一人一人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができるようにとの願いが込められています。

これからの日本を支える子ども達が、将来に希望を持ち、心豊かに人生を送ることができるために、私たち大人の役目は、重大であると改めて感じております。

『自立』（自ら考え、自ら判断し、自ら行動すること）をさせること。そのためにさまざまな実体験を通して『心の力』『学ぶ力』『体の力』をつけさせること。職員一同で努めてまいります。

（内閣総理大臣記者会見より引用）

今年度、子ども達が掲げるテーマは・・・

『 夢 』 です

毎年、ゆり組（5歳児）の子ども達が話し合い決めています。

異年齢児の交流や大きな行事では、自分達で決めた（または、お兄さんお姉さんが決めてくれた）テーマをもとに、活動が展開されます。

今回のテーマ決めでは、最初、複数の案（動物・虫・宇宙・探検・夢…など）が出ました。子ども達に、小さな友達にも理解できること、お買いものごっこや作品展でみんながイメージしやすい事を考慮に入れるよう伝えたところ…“探検”“夢”の2つの案に絞られました。そこで、両者の違いを説明すると、『(夢の) 動物園だったら恐竜がいて、いいんだよね!』『(夢の) 水族館に見たことのない魚が泳いでいる!』これらの意見が決め手となり、テーマが決まりました。子ども達は、現実の世界だけではなく、自分達が自由に描く世界に思いを寄せることができることに魅力を感じたようです。

昨年の今頃、当時すみれ組だった子ども達は、自分の考えを言葉にすることが苦手でした。考えが思い浮かばない、または一人が話したことを他の子どもが皆、真似るという状態でした。しかし色々な言葉遊びを体験することで、少しずつ自分の考えを言葉で表現することができるようになってきました。（昨年度の作品展や発表会で、その一部をお披露目しました）

今回の話し合いの際も、さまざまな言葉のキャッチボールがありました。中にはキャッチボールにならず、場外へ飛んでいったボールもありましたが・・・。

自分で考えた事を話すこと、自分とは異なる考えを聞くことの楽しさを体験できたのではないのでしょうか。テーマが決まった瞬間、子ども達から歓声が上がりました。どの子どもも実に生き生きとした表情でした。

さあ、これから他のクラスの子どもが加わり、どのようなドラマが展開されるのか、楽しみです。



今年度の歌は・・・

『 **大きなうた** 』です

歌は心を豊かにしてくれます。園では、わらべうたなどさまざまな歌に触れています。行事などで、来園された時、『今年度の歌』を子ども達と共に歌いましょう。皆さまと良い時間をご一緒できればと思います。

クラスだよりには“今月のうた”が載っています。ご自宅でも、ぜひご家族で歌を楽しんでいただきたいと思います。

一日保育士さん・見学

6月から受付開始します

原則として、ご希望日にご来園いただけます。保護者以外の方も、ぜひお越しください。なお、ご希望日は事前にお知らせください。

(保育の都合上、別日に変更していただく場合もあります)

